

那賀川水系河川整備計画（那賀川流域住民の意見を聴く会②）阿南市第二会場
議 事 要 旨

日 時：平成19年3月18日（日）13：30～17：40
場 所：阿南市那賀川社会福祉会館3F大ホール
参 加 者：17名

議事要旨：以下のとおり

【住民Aさん】

- ◇修正素案は、今までの意見を聴く会の内容を反映しており良くできていると思う。
- ◇治水安全度の目標は、河川整備基本方針では1/100であるが、今回の整備計画では1/30～1/40となっており、まだまだ途中段階である。整備計画ができることで安全と思う人もいるので、将来の目標が1/100であることを明記してほしい。1/100にするためには、新設ダムを造るとか他のメニューもあるのではないか。
- ◇利水安全度は「現状が1/3～1/4である」とあるが、近年の渇水の状況から私の感覚では1/10と思っている。長安口ダム、川口ダムの容量配分の変更で利水安全度を1/7にするとあるが、将来的には1/10を目指すことも記述してほしい。

【事務局】

- ◇基本方針の治水安全度1/100は大目標であり、整備計画はそれに向けての一つのステップである。将来の目標は1/100であるが、目標達成のメニューを今は持っておらず、整備計画ができた段階で次のステップを考えたい。
- ◇利水安全度1/7は、現状の施設を使い、現状の水の使いかたで達成できる目標であり、将来的には1/10にしていかなければならないと考えており、今後検討していきたい。

【住民Bさん】

- ◇ダム湖底の堆積土砂対策について、排砂トンネルを提案しているようだが、建設に時間がかかることはわかった。長安口ダム建設時、セメントを日和佐からリフトで運んだと聞いているが、その逆方向も考えられる。堆砂対策はダムがある限り永久的に続くので、具体的な方法を選択して早急に実施してほしい。堆砂の全量を大量に下流に流すと、将来的には、河床が高くなり洪水対策もしなければならないということもあるので検討してほしい。土砂を日和佐の辺りまで運ぶと、建築骨材等として採算ベースに乗るのではないか。
- ◇選択取水は良いと思うが、ダム湖水の水質が心配である。ダムに流れ込む水は窒素、リンなどの栄養素が豊富で、過去にも赤潮等の問題があった。ダムに水が溜まることにより水質が悪化し、栄養素が下に沈殿しているのではないか。水産業に関係しているので、下流に栄養のある水がほしい、栄養の少ない上澄みばかり流されるのではないかと心配である。

【事務局】

- ◇平成16年災害で長安口ダム上流に、大量の土砂が流れ込んできた。早急に行える対策としては、ダンプトラックにより運び出す方法を考えている。今いただいた日和佐への運搬などについても平行して検討していきたい。ダム下流に置く土砂の量は、モニ

タリングにより環境への影響を見ながら、徐々に進めていく。

◇選択取水設備については、濁りの薄い層の水を放流することにより下流への濁りの影響を少なくする方向で考えている。設備には、濁り、温度などを自動的に観測する装置を設置しモニタリングを実施する。

【住民Cさん】

◇ダム建設のためだけとは言わないが、長安口ダム建設時に骨材として大浜海岸の砂を使ったために、半分以上の砂が無くなっている。長距離の所に土砂を運ぶ方法として索道はよいアイデアではないか。

◇漁業の面でも、砂がなくなることによって問題が起きている。ウミガメの上陸も少なくなっており、環境問題としても、砂消失問題は課題である。

【事務局】

◇索道について、ルートを計画することは可能であるが、民地、地形、砂の受け入れ先などの課題があり、すぐ簡単にできることではないと考えている。

【住民Dさん】

◇ひまわり会館で中島漁港の浚渫工事について質問したところ、昨日県南局からお電話をいただいた。長安口ダムに関連した問題とも考えられ、過去に浚渫工事をしてきた経緯もあるので、是非やりたいというお返事をいただいた。

◇修正素案について中島漁協で役員会を開催したところ、河川の研修会をしたいという意見があった。できれば、研修会に来てほしい。

◇汽水域では、どんな被害が起き、将来どんな被害が予想され、その時どのような対策を取ればよいのかということをお教えしてほしい。

【事務局】

◇整備計画を早く策定し、実施の段階に進んでほしいとの意見もいただいている。産業面の問題、漁業面の被害問題等の個別の課題については、河川との関係があるかどうかを含めて、引き続き県が窓口となり相談させていただきたい。

【住民Dさん】

◇ダム周辺で土砂が堆積したら除去しなければいけない。下流へ流すのは仕方がないが、下流への影響も配慮してほしい。例えばゴミ等を回収するなど、自然環境を保全していきながら、お互いに理解し合って実施していくよう要望する。

【事務局】

◇排砂して河川へ戻す取り組みでは、土砂の中のゴミなど、できる限りの選別をしたいと思っている。土砂の中には有益なものもあるかもしれないので、徐々に量などを増やし、モニタリングしながら実施していきたい。なお、洪水時に流れるゴミについては、止めることが難しいので理解してほしい。

【住民Eさん】

◇熊谷川の樋門、内水排除のためのポンプ整備のお礼を申し上げる。このポンプはいつから稼働するのか。できれば修正素案に記述していただきたい。

◇長安口ダムの放流であるが、いつの時点でどの程度放流するのかが非常に大きな問題である。吉井の樋門がなかった10年位前に、長安口ダムの思いがけない放流により、那賀川の増水で逆流し、大きな被害を受けた。ダムの放流と樋門操作の連携を取って逆流がおこらないようにしてほしい。

◇ダムの底から放流することは、難しいのかもしれないがご検討いただきたい。

【事務局】

◇熊谷川のポンプ場であるが、今年の夏から稼働できる予定となっている。

◇ダムと樋門の連携については、平成19年度から長安口ダムが直轄管理となるので、ダム放流量の予測、樋門操作など下流と連携してやっていく。その際に、情報をどのように地域の方々に出すのかを住民の皆さんと一緒に考えていきたい。

◇ダムの底から放流することについては、既設ダムでは底部から放流する設備を造ることは難しいので、今回の改造ではオリフィスゲートをできるだけ低い所に設置するように考えている。

【事務局】

◇長安口ダムの放流情報については、那賀町、阿南市などの関係自治体より正確な情報を早く流してほしいとの要望もあり、今までも周知はしてきたが、地震の緊急情報などITを利用して個人が早期に知ることができるようなシステムもできているので、今後さらに検討を進めたい。個人に対してどういう方法で情報を知らせたらよいかについては今後の検討課題としたい。

【住民Fさん】

◇深瀬町の堤防工事が進んでいるが、深瀬地区の面積は約6町あった。それが堤防整備後には約3町となり、その土地を圃場整備すると2町3反位となる。地元の方は、那賀川の流れをよくするための犠牲になったとさえ思っている。モデル地域にするという話があるが、深瀬にはどのようなメリットがあるのか。

◇圃場整備で極度の嵩上げは内水面が複雑になると言われており、排水ポンプ場もすぐには難しいと聞いているが、地元から要望している。

◇中央橋潜水橋は、抜水橋にしてほしいと要望している。桑野川では河川改修でかなりの橋の架け替えをしているので、深瀬の潜水橋も架け替えてほしい。

【事務局】

◇地域再構築のモデル地域にすることのメリットは、堤防整備を望んでいる地域に対して、地域の人々と共同で取り組む形をとることにより、予算要求の関係上、事業の推進を早めることができることである。

◇内水ポンプについての心配があることは認識している。堤防設計の中でポンプ車が稼働できるような施設を考えたい。ポンプ施設はできないが、ポンプ車をうまく使える仕組みにしたい。

◇潜水橋は、道路としての機能からいうと、ダムが放流すると通行止めになる不便さはあるが、洪水時の流水の障害にはなっていないと思う。今回の整備計画では抜水橋にする計画にはなっていないが、阿南市には地域の要望があることは伝えている。

【事務局】

◇研修会開催についての要望であるが、河川整備計画については意見を聴く会を各所で実施しているので、この会での聴取ということでご理解願いたい。整備計画策定後は、工事の内容、汽水域の関係等について、出前講座などを利用して出向くなりしてお互いに勉強したいと思っている。

【住民Dさん】

◇修正素案の今後の取り組みにおいて、お互いに協働・協調の精神が必要であると一番最初に書いてある。漁業社会のあり方にも問題があり、これからの社会では産業との連携を図りながら、知識を高めていかななくてはならないと考えている。研修会の時期関係にはこだわっていない。これからの方法としてどういう方法があるか教えてほしいという意味で申し上げた。

【住民Gさん】

◇治水対策では、施設設備のハード面と治水対策のソフト面が必要と考えている。新直轄の阿南・小松島道路が整備されることになり、道路が氾濫原を南北に横断するので、公表されている浸水想定区域の見直しが必要になると思われる。合わせて充実したソフト対策もお願いしたい。

【事務局】

◇新直轄の道路構造を確認するとともに、浸水想定区域図については、今後シミュレーションの見直しを含め検討していきたい。

【住民Hさん】

- ◇ジェーン台風の時、那賀川の堤防は越水しかけた。統合堰ができた場合、樋門の操作はしっかりしたマニュアルをつくってかなり慎重にしてほしい。どこが樋門を管理し、どこからの情報で操作するのか知りたい。現在は、土地改良区の職員ではなく、2年交替の利水委員が南岸堰と北岸堰の取水ゲートを操作している。
- ◇北岸堰については、現在下流で流れのバランスが崩れ、右岸が陸地化して環境に非常に悪い状況になっているので、北岸堰をカットしてほしい。
- ◇砂防ダムをスリット化して下流へ土砂を流してほしい。
- ◇排砂バイパスや排砂ゲートに加えて長安口ダム下流50m地点の新設ダムについても検討してほしい。
- ◇長安口ダムと小見野々ダムの2つのダムを利用し、系統だてて運用すれば、排砂ゲートも造れると思う。
- ◇森林整備対策については、世界中でこれからの学問であると言われているので、広い目で見てほしい。
- ◇那賀川流域の企業が出ていかないために、吉野川からの水の導水ということも文章として入れたらどうか。その場合、具体的な導水の方法などの検討をしてほしい。

【事務局】

- ◇統合堰については、農政局が事業を実施しており、管理もすると聞いている。堰が完成すれば操作規則をつくり、上流ダム等の状況を十分把握して安全な操作を行う。
- ◇統合堰ができると、北岸堰の必要がなくなるので切り下げを実施する。切り下げ高等

については、今後検討していく。

【事務局】

◇砂防ダムのスリット化、新規ダムについては、今後の課題として受け止め検討していきたい。

【事務局】

◇吉野川からの導水については、基本的には流域単位での水利用が原則と思っている。吉野川から導水するかどうかは吉野川流域の水利用者の同意やコストの問題も含め検討はしていく。本計画に入れるだけの熟度にはまだ達していないと考えている。

【住民Hさん】

◇統合堰の管理は農政局がするという事だが、那賀川本体を管理している国土交通省がマニュアルをつくって、しっかり管理していかないと洪水時の操作は難しい。農政局で管理ができるとは思わない。国土交通省が責任を持って対応していただきたい。

【事務局】

◇統合堰は、農林水産省から設置許可申請があり、設置されるものであるため、管理も設置者が行うのが通常である。管理に当たっては、十分な管理操作ができるように操作要領が作成されるのでそういうものを見ていきたい。

◇ダムからの放流情報などの管理については、国土交通省からも情報を流し、指導をしていく。地元に関心があることは農政局の事務所に伝えておく。

◇砂防ダムのスリット化は、土砂流出等いろいろな課題があるので、ご意見として伺い検討していく。

◇新設ダム、小見野々ダム活用、吉野川導水等の意見については、整備計画は決まれば完了ではなく、技術の進歩、経済性、地域の重要度や進捗の度合いなどいろいろな時点で見直す機会があるので、社会情勢などを考えながらそのようなことが取り組めるのかどうか検討していきたい。

【住民Cさん】

◇桑野川一の堰のゲートは、洪水が起こる前に自動的に作動すると聞いたが、機械によって全て作動するのか、どのような方法で作動するのか知りたい。水門が作動しているかどうか国土交通省でモニター監視するという事だが、誰が見ているのか。

◇大津田川の樋門は誰が管理し、どのような操作をするのか。国土交通省、徳島県の体制はどうなっているのか。

【事務局】

◇一の堰は上流側の水位を感知して自動的にゲートが開くようになっているが、手動でも操作できる。那賀川河川事務所のCCTVでも監視ができ、全員が見ることが出来る。

◇大津田川樋門の操作は桑野川の水位を見て、大津田川へ逆流がないよう操作をすることになっている。操作人については、那賀川河川事務所より委託して水門操作をお願いしている。樋門操作研修会を行い、操作について周知をはかるようにしている。

【事務局】

◇一の堰の操作は、土地改良区の施設であるために、雨、水位の情報などを見ながら土地改良区がゲートの操作をしている。国土交通省でも桑野川上流の雨量テレメータからの情報が入るので、土地改良区へゲート操作の指示をすることもある。

【住民Cさん】

◇大津田川の樋門操作、一の堰の樋門操作で災害が起こった場合、国土交通省でどの程度責任がとれるのか。桑野川引提事業についても同様にどの程度責任がとれるのか。桑野川、大津田川の基本高水流量、計画高水流量がいくらか教えてほしい。

【事務局】

◇一の堰、大津田川の管理がうまくいかなかった場合ということだが、毎年土地改良区と合同で被害が起こらないよう、調査を行っているが、もし被害が起こった場合には、被害にあわれたかたと話をさせていただく。

【事務局】

◇桑野川の計画高水流量は、大原地点で基本高水、計画高水ともに1,300m³/sである。今回の整備計画の目標流量は950m³/sである。

【事務局】

◇大津田川の将来目標は90m³/sで、今回の整備目標は50m³/sである。

【住民Bさん】

◇樹木伐採であるが、整備計画では南岸堰から上流と聞いた。大京原橋の上下流にたくさん樹木があったが、洪水で流出し、一部が浅い海岸に沈んでいるために、漁業者は網にひっかけたりして難儀している。樹木伐採に関しては、下流部においても洪水で流されそうなところを優先して行ってほしい。

◇河川維持水量であるが、用語集では漁業も含めて影響のない水量とある。河川整備の基本理念に「各産業バランスのとれた河川行政」とあるのは非常にありがたい。しかし、汽水域について「現在有している良好な河川環境」とあるが、今の河川環境が漁業にとって良好とは思わない。良好な河川の環境とは誰が判断したのか聞きたい。

【事務局】

◇樹木伐採は下流域では、河岸洗掘を起こしている箇所に対岸を優先的に進めている。那賀川橋上流右岸を現在伐採中である。根固ブロックが流され、護岸が壊れそうな所を優先的に予算の範囲内でやっている。

【事務局】

◇伐採にあたっては、切る時期、切る順序も考えている。今後も下流へ流れないように注意して実施していきたい。

【事務局】

◇汽水域の環境の評価であるが、毎年実施してきた魚類・底生動物などの環境調査の結果より、一部のワンドや干潟部分などには良好な環境が残っていると我々が判断してい

る。コンクリート護岸や根固ブロックが連続している部分には動植物の生息・生育環境に影響を及ぼしているところもある。

【住民Iさん】

- ◇修正素案9ページの表については、間違いがあるので修正をお願いしたい。
- ◇那賀川の水質は、BODから言うと非常に良いと思う。しかし、濁りに関しては、和食近辺では2度程度の濁りであり、アユに必要なケイソウが生えず、ノリも生育しにくい、これはダムの堆砂に原因がある。
- ◇長安口ダムの堆砂については、年間30万 m^3 の土砂流入があり、予備軍としてまだ200万 m^3 も残っている。現在ダムの28%が土砂で埋まっている。長安口ダムの堆砂問題を解決するために、排砂バイパスの研究を早く実施してほしい。緊急的な土砂除去は必要だと思うが、十二社や追立ダムに溜まっている土砂を10万~20万 m^3 除去するためにダンプトラックを使うとダンプの列になる。1~2年なら我慢できるが、永久的になると我慢できない。

【事務局】

- ◇修正素案9ページの表で流量については、我々の諸先輩方が一生懸命測って公表している数字であり、修正は難しいと考えている。被害データについては再度確認をさせていただく。

【事務局】

- ◇那賀川流域は地質が脆弱で、昭和51年、平成16年には大きな山腹崩壊があった。小さな洪水でも山が荒れている状況で、そのような中に流域で唯一の多目的ダムである長安口ダムがある。唯一の長安口ダムをいかに有効に長く活用するかが重要である。
- ◇堆砂問題については、今すぐできることとして貯水池内に土砂が入ってこないように上流で土砂を取り除いて、少しでも長くダムを有効活用したい。リフト、ベルトコンベア等の方法も考えられるし、ダンプ運搬も課題が残るが、少しでも実績を積み重ねて長安口ダムの命を永らえさせたい。排砂バイパスについても調査・研究して引き続き検討していきたい。

【住民Jさん】

- ◇司会が時間の調整をしてほしい。いつまで会を続けるのか、時間を決めてほしい。意見を的確に求めて、的確に答えて、時間内に終わる会議システムにしてほしい。

【司会】

- ◇会の運営上、まずかったことはお詫びする。会は16時30分までとしているが、他の会場でも多少延長しており、極力皆様の意見を反映させる会としたい。(意見のある人の確認をする)3名の方が意見があるとのことなので、その方の意見を聴いて、それで終了としたい。

【住民Hさん】

- ◇森林と環境の問題が言われるが、山林経営としては適切な間伐をしないと森林の価値はない。環境のことを言う人は山の値段がどんなものか知識がないと思う。徳島県内の人はもっと徳島の山を買ってほしいというのが私のお願いである。

【住民Kさん】

◇修正素案は、2年半にわたるフォーラム2030の意見を受けてつくられた。大きな方向性の違いはなく、提言内容もほとんど含まれている。この修正素案を、次のステップに進めていただき形にしてほしい。住民が安全で安心できる川づくりを実感できるよう早急に必要なところから実施してほしい。

【事務局】

◇ご意見ありがとうございます。実現に向けて頑張りたい。

【住民Cさん】

◇大津田川の水門について、時間雨量100mm程度の処理はできると思うが、ポンプ排水量はどのくらいあるのか、またどれくらいの時間稼働できるのか。

◇昭和27年に福井で1時間に167.2mmの雨が降った記録がある。これは時間雨量として全国2位となっている。このような雨に対して大津田川が大丈夫か心配している。私の家の前の水路は、雨が降るたびに床下すれすれのところまで水がくる。

【事務局】

◇桑野川のパンフで説明。ポンプの排水能力は10m³/s、1時間当り36,000m³で燃料がある限り稼働できるが、桑野川では長時間洪水が続くとは考えておらず長くとも5～6時間で十分吐けると思っている。このポンプ規模は平成11年6月洪水をもとに決めている。支川の末端の水路があふれることについては、水路を拡幅するしか方法がないと思う。

【事務局】

◇桑野川の直轄管理部分は国が、大津田川は県が整備をしている。ご指摘の水路については、阿南市の管理か土地改良区の管理かわからないが、問題があれば地元の阿南市にまず相談していただきたい。

【住民Cさん】

◇阿南市当局の担当者に要望を伝えてほしい。伝えた結果はどうなったかということも情報開示してほしい。

◇フォーラムの中だけでなく、住民の意見をできる限り聞いてほしい。

◇会の議事録などの情報の開示もできる限り早くしてほしい。

【事務局】

◇ご自宅前の水路の話については、阿南市建設部当局へ伝えている。

【事務局】

◇住民意見の反映、会の議事録の早期開示については、できる限り努力していきたい。

【住民Cさん】

◇旭ダムの視察には、地域の住民も連れて行ってほしい。連れて行っていただければ自費で行きたい。

【事務局】

◇職員の現地視察は、業務の一環としての調査である。住民のかたが行くのであれば独自で行かれたかたもいるので、お互いに独自で研究し情報を持ち寄りながら進めていきたい。

【住民 I さん】

◇長安口ダム操作規則改正について、洪水調節は $2,000\text{m}^3/\text{s}$ から開始して、最大放流 $4,900\text{m}^3/\text{s}$ としてほしい。長安口ダムは洪水時にEL. 222mまでの容量で洪水調節をやっている。EL. 225mまで貯水位をあげると堆砂のために平谷地区や坂州木頭川の広野発電所あたりが浸かるためである。その辺を検討したうえで新しいダムの操作規則をうまくつくってほしい。

【事務局】

◇長安口ダムの操作規則については、これからも勉強していきたい。整備計画において放流量を増やして操作ルールを変えていくことについても、下流河川改修状況、平谷地区改修状況などを考慮しながら検討対応をしていきたい。